

Co - 共に、創る。 creation

www.ccb.osaka-u.ac.jp

共に、創る。-Co-creation-

● 産学連携のフロントランナーとして

大阪大学は、常に企業の皆さまとの対話を重視し、より革新的な成果を生み出す連携の形を模索・提案しています。従来からの個々の研究者との共同研究等に加え、企業の研究開発部門と大学の研究室が組織的に連携する「共同研究講座」や、企業の研究所をキャンパス内に誘致し、人材育成も含めた多面的な連携を行う「協働研究所」を全国に先駆けて設置するなど、新しい「組織対組織」の連携の形を生み出してきました。

● 産学連携から産学共創へ - 新しい社会価値創造を目指して -

社会の課題が複雑化し、将来の社会ニーズを予測することが困難となった今、大阪大学は、企業と大学が共に取り組むべき課題の検討段階や基礎研究の段階から協働する「共創型」の連携に積極的に取り組んでいます。

企業と大学がビジョンを共有し、共に課題に取り組むことで、社会課題の解決や新しい社会価値の創造を目指します。

● 大阪大学の強みを生かした知・人材・資金の好循環の実現

「共創型」の取組を通じて、研究現場から生み出される研究成果を社会実装し、人や社会での検証を基に社会課題を明らかにし、その情報を収集・分析して、また研究現場に戻すことにより基礎研究を深め、新たな研究領域を開拓し、イノベーションを創出する「OUエコシステム」を推進しています。



共創機構が、企業の皆さまと大阪大学との「共創」の窓口です。
ぜひお気軽にご相談ください。

多様な連携のかたち

大阪大学は、実学の伝統、世界トップレベルの研究力、分野横断のテーマが立てやすい風土を活かし、多様な方法で皆様と共に課題の解決を目指します。

課題の探索・設定段階から一緒に考えたい

大阪大学の研究者と一緒に研究したい

大阪大学の研究者に研究を委託したい

大阪大学の研究者に研究・技術課題について相談したい

大阪大学の研究者と一緒に地域の課題を解決したい

連携する研究者の検討や相談がこれからの場合は「技術相談」としてお問い合わせください。

大阪大学の活動を支援したい

未来社会共創コンソーシアム

03へ

社会課題の解決や新しい社会価値の創造に向けて企業と大阪大学が課題の検討段階から協働し、「共創型」の連携を実現します。

共同研究

企業等の研究者と大阪大学の研究者が、対等の立場で共通の課題について共同して研究に取り組みます。

共同研究講座

02へ

企業等から資金や研究者を受け入れて大阪大学内に研究組織を設置し、共同研究を行います。

協働研究所

02へ

企業等から資金や研究者を受け入れて大阪大学内に研究拠点を設置し、共同研究を行います。

受託研究

企業等からの委託を受けて大阪大学の研究者が研究し、その成果を報告します。

学術相談

企業等における特定の研究・技術課題等について、企業等からの委託を受けて大阪大学の研究者が専門的知識に基づき助言等を行います。

地域連携

大阪大学共創機構がハブとなって、地方自治体、企業、市民等との協働により、地域社会における課題の解決、新たな社会価値の創出に取り組みます。

ご寄附

- 大阪大学未来基金:皆さまからのご寄附を基金として運用し、大阪大学の教育研究活動等の推進や、学生・若手研究者の支援に活用します。
- 奨学寄附金:大阪大学の特定の研究者や教育研究組織による教育・研究の奨励等を目的にご寄附いただく制度です。

各制度の詳細は共創機構HPをご覧ください。

<https://www.ccb.osaka-u.ac.jp/service/hitome/>

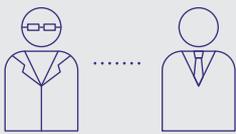


産学連携から産学共創へ

大阪大学は予め設定された課題について個々の研究者が主体となって連携する従来型の産学連携に加え、組織対組織のより多面的・包括的な連携、共に取り組むべき課題の探索や基礎研究段階から協働する「産学共創」を積極的に推進しています。

連携の深化と大規模化

従来型の産学連携

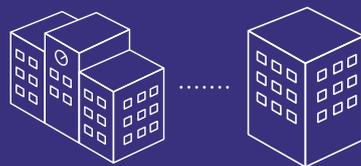


- 【研究者】対【企業の一部門】が主
- 設定された課題の下での活動

これからの産学共創



写真上「大阪大学の産学共創拠点 テクノアライアンス棟(吹田キャンパス)」



- 【組織】対【組織】の連携
- 課題探索や基礎研究の段階からの共創

オン・キャンパスの組織的共同研究 -Industry on Campus-

共同研究講座

大阪大学内に研究組織を設置し、共同研究を実施



- ・柔軟かつ迅速な研究の推進が可能
- ・御社の企業名が明らかとなる講座名を付与することが可能

協働研究所

大阪大学内に研究拠点を設置し、共同研究を実施



- ・柔軟かつ迅速な研究の推進が可能
- ・御社の企業名が明らかとなる研究所名を付与することが可能
- ・ポスドクや大学院生の参画 (Internship on Campus)
- ・共同研究や共同研究成果の活用につながる、御社独自の研究を実施することが可能

共創による新しい社会価値の創造

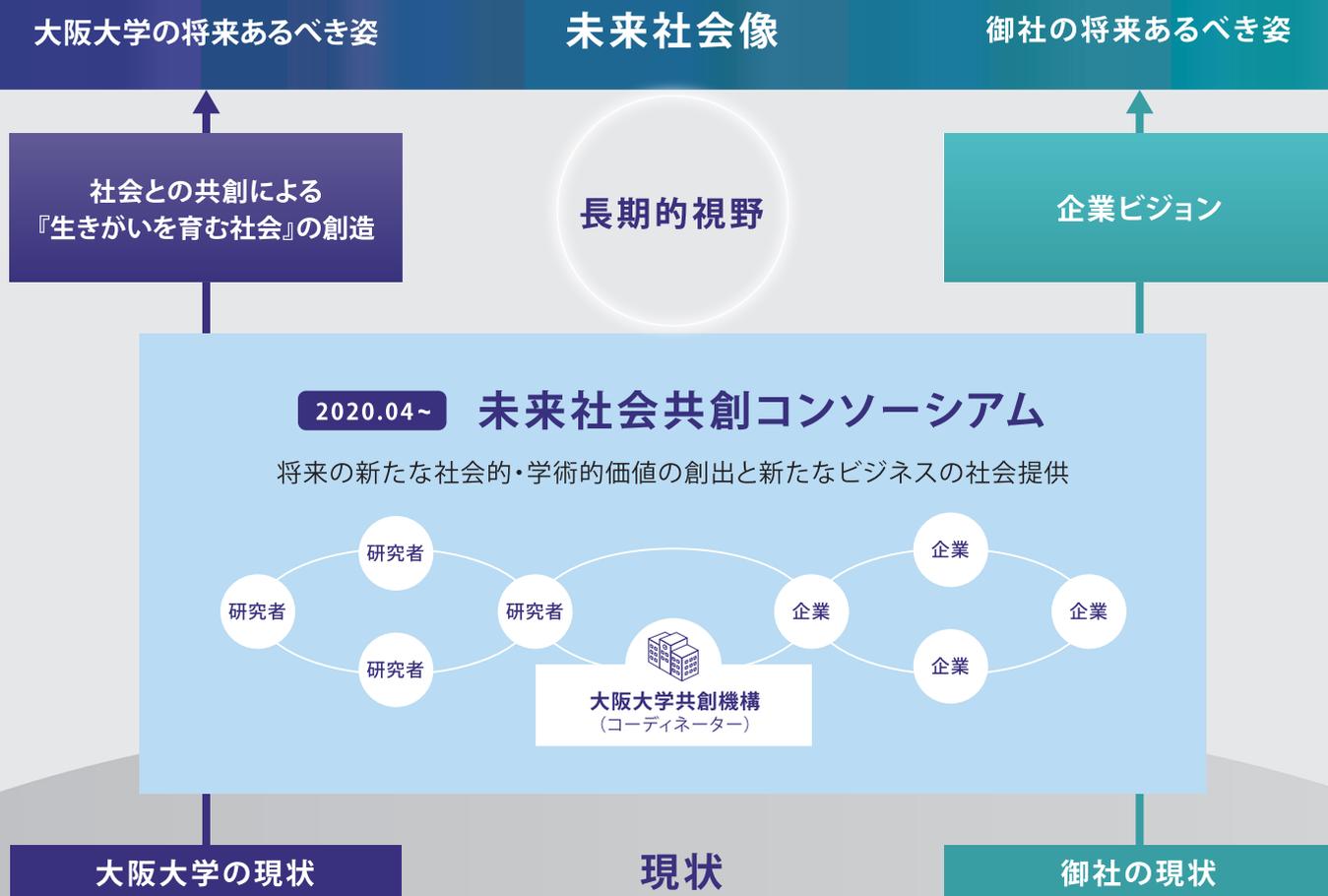
社会の課題が複雑化し、将来の社会ニーズを予測することが困難となった今、企業と大学が課題の検討段階から協働し、共に新しい社会価値の創造に取り組む「共創型」の連携が必要となっています。

共創機構は、社会課題の解決や新しい社会価値の創造に向けた「共創型」の連携を提案、実現します。

未来社会共創コンソーシアム

「自社の技術を新しい領域に展開したい」「大学と連携し、社会課題の解決に繋がる事業を創出したい」

そのような御社の将来ビジョンや課題をお気軽にお聞かせください。共創機構がコーディネートする「未来社会共創コンソーシアム」では、御社が提案する課題をベースに、社会課題の全体像の把握と本質的な問い立てを共に考え、解決のためのデザインを提案します。この仕組みによって、1研究者と1企業の共同研究では解決できない課題に対し、必要に応じ複数研究者、さらには複数企業が参画する産学・産産連携型の共同研究プロジェクトの企画提案等を行うことも可能となります。未来社会共創コンソーシアムにおける活動を通じて、分野やセクターを超えた組織間連携を実現し、産学共創によるオープンイノベーションを推進していきます。



共に創る - 阪大スタイルの新しい産学連携のかたち -

動画でも分かりやすく再現しています！ぜひご視聴ください。 https://youtu.be/1VA_dZMFYpw



具体的なテーマや相手となる研究者が定まっていなくても構いません。共創機構が課題探索・設定から一緒に検討します。ぜひお気軽にご相談ください！

よくあるご質問

Q. 特定の分野や研究者、連携の形が決まっていない段階でも、相談することはできますか

A. 可能です。
ご希望に沿って課題解決のためのアプローチをご提案しますので、下記のお問合せ先までお気軽にご相談ください。

Q. 相談だけでも費用はかかりますか

A. ご相談には費用はかかりません。まずは下記のお問合せ先までお気軽にご相談ください。

Q. 共同研究・受託研究で生まれた発明はどのように取り扱われますか

A. 本学教職員等の創作した発明に係る権利は原則として大阪大学に帰属します。
御社・貴機関と本学教職員等との共同発明に基づく権利は御社・貴機関と大阪大学との共有となります。共同発明を特許出願する場合は、協議の上、御社・貴機関と大阪大学との間で共同出願契約を結び共同出願を行います。なお、受託研究から創作された発明は、原則、大阪大学に帰属します。

Q. 大阪大学の研究データを知ることはできますか

A. 1.「研究シーズ集」

大阪大学の優れた基礎研究や社会実装を目指す研究、社会課題に取り組む研究を紹介する「研究シーズ集」をご覧ください。

<https://www.ccb.osaka-u.ac.jp/seeds/>



2.「ResOU(リソウ)」

大阪大学の研究専用ポータルサイトResOU(リソウ)では、研究成果のプレスリリース情報や、気鋭の研究者にスポットを当てた特集記事など大阪大学で行われる最先端研究をご覧ください。

<https://resou.osaka-u.ac.jp/ja>



お問合せ先・アクセス

大阪大学共創機構

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号 テクノアライアンスAB棟
TEL : 06-6879-4875



交通アクセス

阪急電鉄【北千里】から徒歩で約25分
大阪モノレール【阪大病院前】から徒歩で約15分
阪急バス【阪大本部前】から徒歩5-6分

共創機構ホームページ

<https://www.ccb.osaka-u.ac.jp/>



お問合せフォーム

https://www.ccb.osaka-u.ac.jp/contact_form/

